

ロンドン滞在記

2005/6/11(土)~2005/7/3(日)

【序】

昔、ロンドンに3週間滞在して、市内および近郊を観光してきました。
この滞在記は、当時つけていた日記に、情報を加筆したものです。

最初の2週間はホームステイして語学学校に通い、残り1週間は日本から来た友人と合流してバックパッカーしてました。

ロンドン市内は見どころがたくさんあって、3週間かけてやっと全部制覇した感じです。
近郊は、競馬場2か所(ニューマーケット、エムソムダウンス)とグリニッジ(天文台)に出かけました。

6月は1年中で最も日照時間が長く、気温もそれほど高くなく、最高の時期に行ったと思います。

【目次】

6/11(土)	出発&到着
6/12(日)	Kings Cross Snooker Club
6/13(月)	River Thames
6/14(火)	London Bridge
6/15(水)	Canary Wharf
6/16(木)	St. James' s Park
6/17(金)	Tower Bridge
6/18(土)	Newmarket Racecourse
6/19(日)	Market 巡り
6/20(月)	Ye Olde Cheshire Cheese
6/21(火)	怪しい建物
6/22(水)	Regents Park
6/23(木)	Imperial War Museum
6/24(金)	最後の授業
6/25(土)	International Student House
6/26(日)	Snooker と Pub 三昧
6/27(月)	Generator
6/28(火)	Greenwich
6/29(水)	Limegrove
6/30(木)	Epsom Downs Racecourse
7/ 1(金)	London Eye
7/ 2(土)	お別れ
7/ 3(日)	帰国
7/ 7(木)	後日談
巻末付録	私がおすすめる観光スポットランキング バスト 10

【6/11(土)】 出発&到着

会社勤続 15 年のご褒美として「1 か月休暇」をいただけることになった。この休暇を利用して、イギリスに語学留学に行くことにする。イギリス英語の「カッコいい響き」に憧れる私は、現地の言葉や文化に触れるべく、一人旅立つのである。

滞在期間は 3 週間。前半の 2 週間はホームステイでイギリスの語学学校に通う。残りの 1 週間はビリヤード友達と合流して、バックパッカーの宿を泊まり歩こうという計画である。

午後に成田空港を出発する。機内で映画を 4 本観て、ほとんど寝ずにロンドン(Heathrow Airport)へ。同日 17:10 定刻に到着。気温は 17℃。

空港からホームステイ先へは現地ガイドさんに送ってもらう。移動中の車内で現地のインストラクションを受ける。ロンドンの地下鉄はコンコルドより高い(移動距離あたりの値段)、ロンドンの家は政府が建てて売っていて規格が統一されており改装は簡単にはできない、どの家にも煙突があるが暖炉はイミテーションである、煙突は実際に穴が開いているが雨が落ちて来ない様に秘密の工夫がしてある、などなど。とにかく面白く、話は尽きない。21:00、ホームステイ先に到着。受け入れてくれるのは Erdman 夫妻。旦那さんはリタイアしたマイクロバイオロジスト。研究所に勤めていたが、今は主夫として家事全般を引き受けている。奥さんは病院に勤務。男の子を 4 人育て、現在はみんな巣立っているとのこと。

まずは簡単な自己紹介を済ます。夜も遅いので(とは言えまだ外は薄明るい)、シャワーだけ使わせてもらって早く休むことにする。22:00 就寝。



成田空港にて



ホームステイ先の風景(Midholm)

補足1. この時の日本とロンドンの時差は 8 時間(サマータイムを採用、通常は 9 時間)。

日本の午後 2 時は、ロンドンの朝 6 時。

補足2. 日本からロンドンまでの所要時間は、直行便で 13 時間半。

補足3. 当時の為替レートは、1 £ (ポンド) = 208 円(2025 年現在は 1 £ = 160 円)。

【6/12(日)】 Kings Cross Snooker Club(キングス・クロス・スヌーカー・クラブ)

外が明るく、4:30 に目が覚める。小鳥の鳴き声が賑やかだ。一度リビングに顔を出すのが、誰もいないので再び眠る。8:30、正式に起床。トーストの朝食。明日から学校なので、今日はいろいろ準備する予定だ。

まずは学校の場所確認と、ロンドン市内探索をしたい。ホームステイ先最寄りの Wembley Park 駅で一日券 (£5.2 ÷ 1100 円)を買い、Metropolitan Line と Bakerloo Line を乗り継ぎ、Piccadilly Circus に到着。駅を出ると目の前に Eros の像が。まさに繁華街のど真中に降り立った。

少し迷子になりつつ、学校(Leicester Square School of English)の場所を確認。続いて Travel Card(一週間定期、£30.4 ÷ 6300 円)を購入。一週間で 6,000 円はちょっと高い感じがする。

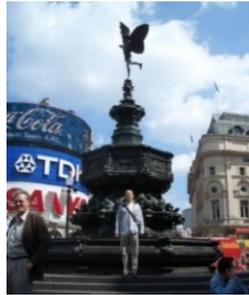
Chinatown で昼食後、Kings Cross へ。駅を出てすぐに Kings Cross Snooker Club(スヌーカー=ビリヤードの一種)を発見。テーブルが 18 台あり、体育館のように広い。早速会員証を作り、1 時間ほど練習する。

その後、Westminster に向かう。Big Ben、Houses of Parliament(英国国会議事堂)、Westminster Abbey(ウェストミンスター寺院)、Horse Guards(騎兵隊の本部)、Banqueting House(王朝時代の娯楽用邸宅)を外側から観察し、17 時帰宅。

夕食はチキン。食後、日本から持参したお土産を渡す。「わるもの」のTシャツ、寿司型 USB、浅草煎餅。息子の Michael(26)と Paul(23)が帰省していて、浅草煎餅が美味いと好評。しばらく話をして 21:00 就寝。まだ明るいが。



朝の Wembley Park



Eros の像



Leicester Square



Kings Cross station



Westminster station



Big Ben と House of Parliament

補足4. 6月のロンドンの日の出は 4 時 45 分、日没は 21 時 10 分。

補足5. ロンドンの Travel Card(トラベルカード)は超便利！地下鉄・バス・トラムなどの公共交通機関が乗り放題。さらに、水上バスも 1/3 割引となる。

補足6. ロンドンの中心地といえば Piccadilly Circus (ピカデリーサーカス)。

Leicester Square(レスタースクエア)や Regents street(リージェントストリート)は大勢の観光客で賑わう。

【6/13(月)】 River Thames(テムズ河)

登校初日。6:30 に家を出る。地下鉄で Westminster まで行き、Thames 河畔を散歩。晴れていて気持ちの良い朝だ。ジョギングしている人がたくさんいる。川沿いの街灯には何やら得体の知れない魚が作り込まれている。どう見ても悪そうな顔をしている。これからこの魚を「ロンドン魚」と呼ぶことにする。

Trafalgar Square(トラファルガー広場)を通って学校まで歩く。クラス分け試験を受け、2 時間目から参加。クラスには日本人が半分以上(8/13 人)いる。日本人比率は 15%程度と聞いていたが、だいが偏りがあるようだ。後から聞いた話によると、日本人は中学校・高校で英語を勉強しているので、ある程度高いレベルに集められるとのこと。

最初の授業、先生は聞き取りやすい British English を話す。冗談も多く楽しい雰囲気。午後はクラスが変わって日本人は 3 分の 1 程度に減る。同じ先生だが、内容はだいが難しくなった。

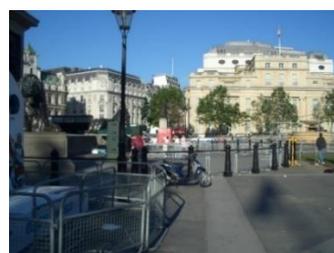
夜はサルサのレッスンを受ける。学校の先生と一緒に Shaftesbury Avenue のダンススクールで 1 時間のレッスン。22:30 帰宅。



朝の River Thames



ロンドン魚



Trafalgar Square

【6/14(火)】 London Bridge(ロンドン橋)

学校 2 日目。Wembley Park で Free Metro を手にとり London Bridge へ。Free Metro は毎日発行。特ダネっぽいネタやクロスワードなど載っていて楽しい。

London Bridge は普通の橋だが、2000 年の歴史がある古い橋だ。1750 年に Westminster Bridge がかかるまで、River Themis を渡る唯一の橋だった。すぐ近くに The Monument(大火記念塔)が見える。

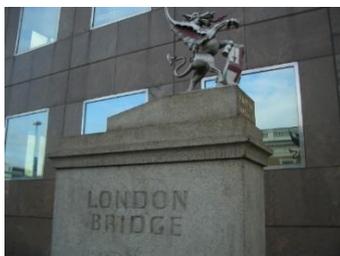
そろそろ学校に向かわなければと思い、最寄りの地下鉄の駅を探す。地図を片手に歩いていると、通りすがりの人が道を教えてくれた。「Leicester Square まで行きたい」と尋ねると「この道をまっすぐで行けるよ」と言う。「歩いて 45 分くらいだよ」と軽く言う。私は最寄りの駅から地下鉄で向かいたかったのだが、これくらいなら普通に歩くようだ。この時から徒歩 1 時間程度の距離が恐くなくなった。

というわけで、徒歩で学校に向かう。通りを歩くと、右手に St. Paul's Cathedral(セントポール大聖堂)、左手に Millennium Bridge が見える。徒歩も悪くない。景色が美しいので、写真を撮るのが楽しい。1 時間ほどで学校に到着。

2 日目の午前中の授業を終え、昼食は Take Away 専門の中華料理屋へ。ご飯に中華の具がかかったものを食べる。ご飯が久しぶりなので嬉しい。陽が出ていると暖かいが、雲に隠れた途端に風が吹き出し寒くなる。この気温の変化はなかなか辛い。

放課後、オリエンテーションがあり、Canary Wharf に行ってみるべきだ、と勧められる。ロンドン市内は歴史のある建物ばかりだが、Canary Wharf は近代的なビルが集まっており、新都心のようなのだ、とのこと。明日、行ってみたいことにする。

放課後、Snooker をしてから帰宅。Jonathan(19)も大学夏休みで家に帰って来ていた。男の子 3 人揃うとさすがに賑やかだ。今日は Paul の誕生日とのもので、夕食と同時にケーキを振る舞われる。一家団樂のひとつき。寄せ書きにちょっとだけ言葉を書き込み、20:00 就寝。



London Bridge の碑



The Monument



ロンドン大火の様子を物語る碑



St. Paul's Cathedral

【6/15(水)】 Canary Wharf(カナリー・ワーフ)

6:00 起床。Jubilee Line で Canary Wharf に向かう。たしかに新しいビル群があるが、私の欲していた景色とは違った。Docklands Light Railway で Bank に出て、地下鉄を乗り継ぎ Leicester Square に向かう。地下鉄の定期券は、地下鉄だけでなく、このような近郊の路線やバスにも乗れるのでとても便利だ。

3 日目の授業を終え帰路につく。風景の撮影を楽しんでいると、見慣れた Wembley Stadium が後方に流れていく。しまった急行に乗ってしまった。普段は決して行くことの無い Harrow-on-the-Hill で降りる。上りの電車で折り返し、何とか帰宅。



Canary Wharf Station



Docklands Light Railway



Canary Wharf の眺め



乗り過ぎた電車からの風景

補足7. Canary Warf はロンドンの中央ビジネス地区のひとつ。

第二次世界大戦中、カナリア諸島(アフリカ大陸の北西沿岸に位置する諸島)からの輸入食品(トマト、キュウリ、バナナ)などの保管場所として使用されたことが名前の由来とされている。

【6/16(木)】 St. James' s Park(セント・ジェームズ・パーク)

6:25 出発。Victoria Station から Buckingham Palace を通り、St James' s Park へ。湖の周りをジョギングしている人が大勢いる。水鳥やリスなど間近で見られる。景色がとてもきれいですがすがしい。

Leicester Square に早く着いたので周辺を散歩。ちょうどバスが通りかかったので、乗ってみる。初のダブルデッカー(車掌付き旧式バス)だ。2 階に上り、先頭の座席が空くのを待つ。程なく一番前の席の人が降りたので、素早く移動。2 階からの眺めは最高だ。ロンドンの市街や、車の流れがよく見える。Tottenham Court Road で降り、学校へ引き返す。

午前の授業を終え、昼は中華。牛肉焼きそばをいただく。外は雨が降っていて寒い。Japan Centre で週刊情報誌 Journey を入手。これも無料。笑える記事が満載。

午後のクラスを終え、放課後は British Museum(大英博物館)へ。入場料は無料だが、寄付としていくらか硬貨を入れる。館内は驚くほど広く、迷子になる。何とか 1 時間で脱出に成功。とても 1 日で見られるボリュームではない。ネコのミイラにはちょっと涙。

Kings Cross まで散歩。それにしてもこちらの人は I' m sorry ばかり言っている。日本人は謝り過ぎ、とよく言われるが、どう見てもイギリス人の方が勝っている。さすが紳士の国。

6:50 帰宅。夫婦は揃ってお出かけ。シャワーを浴びた後、Paul・Michael と一緒にサーモンの夕食を頂く。Michael はパソコンが趣味で、音楽の Mixing で食っていきたいと語る。そして第 4 の男、Toby 登場。Margaret の甥っ子で、退学を 3 度繰り返している。両親が見捨ててこちらに来ているというつわもの。部屋でしばらくくつろぐも、4 人の子供達の騒ぎがおさまらず、なかなか寝つけない。22:00 就寝。



Buckingham Palace の噴水



St. James' s Park



初のダブルデッカー



British Museum



インカ系の像



謎の動物の像



ロゼッタストーン

補足8. St. James' s Park は日比谷公園の約 2 倍の広さで、敷地内に大きな池、さらにその池の中に 2 つの島を持つ。

補足9. 旧型のダブルデッカーは「ルートマスター」と呼ばれていたらしい。残寝ながら 2005 年 12 月に姿を消した。

後ろのドアがなく、いつでも飛び乗れる。料金は車掌さんに払う。

補足10. British Museum(大英博物館)は入場料無料。イギリスが世界を征服した証となるものを堂々と展示している。

【6/17(金)】 Tower Bridge(タワー・ブリッジ)

6:40 出発。目指すはまず着いたのは Tower of London(ロンドン塔)。Tower という感じがしないただの城。昔はここで処刑が行われていたらしい。ちょっと気味が悪い。

すぐ近くに建つ Tower Bridge は最高にかっこいい。川の中に聳え立つ姿が雄大だ。London 中で最も景観が良い建造物に認定する。

Thames 河畔を歩き学校に向かう。明日の休日は競馬に行こうと思う。クラスメイトの Louis の勧めもあり Newmarket に行くことにする。イギリス競馬の中心地だ。

放課後、Maria と National Gallery へ。初美術館体験。やたら広く、2 時間かけても半分しか見られなかった。



London Tower



Tower Bridge



橋の中央の切れ目



足元もぱっかり割れる

補足11. Tower of London は現在のイギリス王室を開いたウィリアム 1 世により築かれた要塞。入場料は £40 から。

補足12. Tower Bridge は、橋桁の中央が跳ね上がる開閉式となっており、背の高い帆船などを通す際には橋が開く。

【6/18(土) Newmarket Racecourse(ニューマーケット競馬場)

1 週間ぶりの休日。7:00 起床。地下鉄とバスを乗り継ぎ Kings Cross へ。国鉄の切符売り場で Cambridge 行きの往復切符(Return ticket)(£17≒3500 円)を買う。親切に乗り場を教えてくれた。8:45 定刻発車。車内は冷房が効いていて快適だ。ほぼ貸し切り状態。周りの景色も次第に広々としてきて、自然がいっぱい。そんな中に点在する、きれいに調和のとれた住居群に感動。途中 1 駅しか止まらず、9:30 Cambridge 着。45 分の旅だった。

Cambridge はきれいな大学町だ。ここにも歴史のありそうな建物がいくつか見える。散歩が気持ち良い。小川に出てパント乗り場を見学。早朝のためか、数隻しか漕ぎ出していない。向こうに Mathematical Bridge(数学橋)も見える。さらに歩いて Market のそばを通り、Tourist Information で Newmarket への行き方を聞く。12:10 に無料送迎バスが出ているというので、それを利用することにする。

駅前待つこと 30 分。ようやくバス到着。無料のはずが、みんなお金を払っている。私も往復で £5(≒1000 円)取られる。謎だ。満員のバスはゆっくり進み、30 分ほどして競馬場に到着。ついに Newmarket に降り立った。周りは自家用車で来た貴婦人方が、持参のテーブルを囲みワインを飲んでいる。おお、この高貴さはイギリスならではの。

足取りも軽く入口を目指す。Grandstand & Paddock は £13。早速中に入り、場内を探索する。なんとパドックの中に入れる。日本では考えられない。暑い夏の昼下がり、場内アナウンスで King's English がめちゃくちゃかっこよく響く。感激。そうこうするうちに 1R に出走する馬たちが出てきた。1 頭 1 頭、厩務員が手綱を引いて下見所に連れて行く。下見所は木陰にあり涼しい。森の中といった感じ。そして Paddock へ。馬との距離が近い。1 番の馬のブリンカーがかっこよく見える。

いよいよ発走。ここは直線だけのコース。はるか彼方からスタートした馬たちは、一団となってゴールに向かう。目の前での追い比べは大迫力。1 着はブリンカーがかっこよかった 1 番。2 着は 4 番。馬券的中ならず。

Guinness を購入し Grandstand に入ると、スタンドでは飲みながらの観戦はできないと言われ、丁寧に追い出される。草場で飲む。やはり競馬場で飲むビールは最高だ。心配していた Dress Code もここでは心配無用。年会員のような高貴な方々の入る席には Dress Code があるが、一般の Grandstand には無い。裸で寝転がっている人もいる。

2R の馬券は公営の Tote pool だけでなく、Bookmaker から買ってみる。パツと目に入るだけでも、20 軒ほどの Bookmaker が店を開いている。Bookmaker の場合、公営とは違って買った時点のオッズで払い戻さ

れるので、投票券には的中時の払い戻し額が既に印刷されている。オッズが変わると、ホワイトボードの数字を手書きで修正している。

2 レース楽しんだところで競馬場を後にする。出口付近に待っているタクシーに乗り、Cambridge へ。電車を待つ間、駅売りの Croissant Ham Cheese を食べる。驚くほど美味しい。

帰りの列車の発車時刻が遅れているが、駅の運行状況表示は On Time のままだった。この長閑さは噂通りだ。帰りの電車は冷房が無く、暑い。途中、検札の人が通り、切符を調べられる。来る時は 45 分だったが帰りは 55 分かかった。16:45、Kings Cross 到着。

家までバスを乗り継ぐ。激混みで地獄の様な暑さ。何とか帰宅し、ミートボールの夕食をみんな揃って食べる。食後はビバリーヒルズ・コップを観て寛ぐ。Toby はペンで髭を書いている。兄貴たちと外に繰り出したくて、大人ぶっているらしい。傑作だ。21:30 就寝。



Mathematical Bridge



国鉄のチケット



車窓からのどかな風景



上流階級の貴婦人たち



パドックに近い



直線の追い比べ



騎手とオーナーの談笑



Guinness を飲む

補足13. Kings Cross station はイギリス主要鉄道の一つ「イースト・コースト本線」の終着駅。

すぐ隣に「ユーロスター」の終着駅である St. Pancras(セント・パンクラス)があり、

「キングス・クロス・セント・パンクラス」という長い駅名の地下鉄駅を共有する。

かの有名なハリーポッターの「9 3/4 番線」がある。

補足14. Mathematical Bridge(数学橋)は、アーチ形に見えるが、実際は直線の木材のみで構成されている。

補足15. New Market は競馬場のみならず、世界のサラブレッドの生産地として知られる。

補足16. イギリス英語で、片道切符は「single」、往復切符は「return」という。

アメリカ英語だと、片道切符は「one-way」、往復切符は「round-trip」となる。

ロンドンの地下鉄は「the underground」や「the tube」と呼ばれるのに対し、アメリカは「subway」。

ロンドンで「subway」と言うと「地下道」になる。

【6/19(日)】 Market(マーケット)めぐり

8:30 出発。今日は同じクラスの友人と Market めぐり。まずは Camden Town に向かう。とにかく若者の街という感じ。すごいパワーに満ち溢れている。パクリものの T シャツが趣き深い。おみやげにしたい。Narrow boat の乗り場もある。いつか Narrow boat に乗ってみたいと思う。

一旦 Leicester Square に戻って昼食。イギリス伝統料理を食べさせてくれるという Stock Pot へ。私はキッシュ、友人はサーモンのコロック。味付けがしっかりしていて美味しい。イギリス料理が不味いというのは偏見だと思う。

次に向かうは Liverpool Street。こちらは Camden と違って普段着の Market という感じ。大きなテントの中を一回りして、アイスを食べ出てくる。

最後は London 最大の Market があるという Notting Hill Gate に向かう。Market がなかなか見つからず苦戦。歩くこと 10 分。やっと発見。その Market の縦に長いことといったら。Antique から始まり、New Goods~Fruits&Veg と続くはずが、なかなか Antique が終わらない。もうダメか、という頃、ようやく New Goods に辿り着く。猛暑の中を歩き通して体力も消耗しており、この先はもう無理と判断。引き返す 2 人。Antique はなかなか面白かった。ロシアのおもちゃ、マトリョーシカですごいやつ(10 個以上内蔵されている)を発見。

4:30、帰路へ。Wembley Central で降りて歩く。Central はアラブ人が多い。ちょっと迷い込んだ広場では、がらの悪そうな中年・若者がたむろしていて少し怖い。足早に Central を後にする。Wembley Park へ向かう途中、猛暑の為かエンストしているバスに出会う。



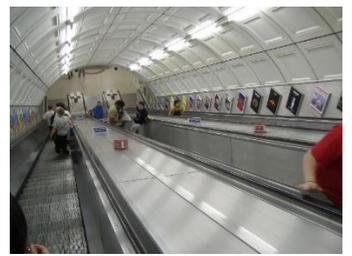
Camden Town



Narrow boat



Liverpool street



長い地下鉄のエスカレーター



Notting Hill の建物



Notting Hill Gate



ロシア歴代大統領のマトリョーシカ



エンストするバス

補足17. ロンドンのマーケットは、衣類・食料・記念品などいろいろ取り揃えていて、そこで休日を楽しむ人も多い。
Camden はロンドンが誇るカウンターカルチャーの中心地らしい。
ロンドン中心部の Covent Garden は、大きな屋根の下のホールのような感じで楽しい。

【6/20(月)】 Ye Olde Cheshire Cheese(ジ・オールド・チシャー・チーズ)

6:30 出発。Hyde Park(ハイドパーク)の Marlborough Gate へ。今日は Hyde Park 縦断だ。その広いことと言ったら…。敷地内に湖が 2 つもある。St. James's Park と比べると、いくぶん汚れた印象。犬の散歩が目立つ。湖のほとりには「犬の水浴び禁止」の看板が。でもこんな朝っぱらから人間は泳いでいる。向こう岸には馬に乗る人の姿も。もう何でもアリだな、と思う。

午前中のクラスを変えた。日本人が一人もいない。

昼は中華料理屋でお粥をいただく。来週からこちらに来る予定の友人からメールあり。25(土)21:05 到着とのこと。2 人分の宿を探さなくては。午後の授業は物語を作る課題に苦戦。だいぶクラスのレベルが高くなった。

放課後、金曜日に見きれなかった National Gallery に行き、近代画を全て見て完了。Web サイトで宿をいくつか探して申し込んだ後、Ye Olde Cheshire Cheese(Pub)へ。

Ye Olde Cheshire Cheese は歴史に溢れている。1668 年創業、かのディケンズが好んだという暖炉の右側の席に座る。店内は暗く落ち着いていて、家という感じ。カウンターの店員も完璧な Gentleman で物腰穏やか。これほどくつろげる場所が他にあるだろうか。私はその席で宿題に没頭。午後の授業で苦労した物語の続きを書き上げなければならない。まるでディケンズが乗り移ったかのように、すらすらとペンは進む笑。ビール(£1.7≐350 円)と、英国初 Fish & Chips(フィッシュ・アンド・チップス)を頂く。美味しい!美味しい!



Hyde Park



朝から公園で水泳する人



Ye Olde Cheshire Cheese



歴史ある暖炉

補足18. Hyde park は、隣接する Kensington Gardens と合わせると、ニューヨークのセントラルパークと同じ広さ。公園内には「池」ならぬ「湖(Serpentine lake)」を持つ。

補足19. Ye Olde Cheshire Cheese は 1666 年のロンドン大火のあとに建てられた歴史あるパブ。チャールズ・ディケンズ、アーサー・コナン・ドイル、マーク・トゥエインなどが訪れたとされる。

【6/21(火)】 怪しい建物

5:30 起床。バナナ、リンゴ、そして日本から持参した味噌汁の登場。6:25 出発。Liverpool Street を散歩中、目の前に卵型の巨大建造物を発見。謎の巨大建造物が何であることを確認しに向かう。だいぶ接近するが、結局何か分からず。入口にはガードマンらしき人がおり、何やら厳重警戒態勢の雰囲気があり近づけない。

午前中の授業で先生に叱られる。昨日やった内容を誰も覚えていなかった。怒るとめちゃくちゃ怖い。

放課後、Museum of London(ロンドン博物館)へ。これまで見てきた British Museum や National Gallery と比べると、普通の博物館といった印象だ。17:30 帰宅。3人でパスタを食べる。



怪しい建物



接近



Museum of London



馬の脚の骨

補足20. 謎の建物は「30 St Mary Axe」という名前らしい(通称:The Gerkin(小さいサイズのキュウリ、の意))。最上階は 360 度見渡せるバーになっているらしい。

補足21. Museum of London は 2022 年 12 月から 2026 年まで閉館中。別の場所に引っ越しらしい。

【6/22(水)】 Regents Park(リージェンツ・パーク)

6:20 出発。St. John's Wood 下車。Beatles で有名な Abbey Road がこの辺にあるということで探すが見つからず。Baker Street のシャーロック・ホームズ像を横目に Regents Park へ。ここもまた広い。公園内に London Zoo(ロンドン動物園)があるほどだ。公園内は比較的きれい。朝っぱらから人出が多い。ジョギングする人もいっぱい。公園内を縦断し、2時間かけて学校まで歩く。

放課後、クラスの友人と Ye Olde Cheshire Cheese へ。ビールが美味しい。また Fish & Chips をいただく。



シャーロック・ホームズ像



ここにもいる



Regents Park は広い



London Zoo

補足22. Regents Park の大部分は自然公園となっており、動物も多い。イギリス式庭園もたくさんある。

【6/23(木)】 Imperial War Museum(帝国戦争博物館)

6:00 起床。Elephant & Castle で降りて Imperial War Museum へ行く。Berlin の壁の一部や、15 インチ砲の実物もある。歩いて London Eye 近辺を通り、Waterloo Bridge を越えて学校へ。

来週の宿探し。とりあえず 1 泊目 International Student House を確保。1 泊 £12(≒2500 円)と格安。バックパッカーのための宿だ。

放課後、Tate Modern(テート・モダン)を軽く見学して、Thames 河畔を散歩。どこかで誰かが Jazz トランペットを奏でている。雰囲気素晴らしい。

18:00 帰宅。子供たちが勢ぞろい。週末にはアメリカに行っている長男も帰国するとのこと。土曜日は早朝から Holiday(ピクニックのことらしい)に出るらしく、私は早朝にお別れすることにする。



Elephant & Castle の建物



Berlin の壁の一部



15 インチ砲実物

補足23. Imperial War Museum は第一次世界大戦の記録を残す博物館。
イギリス海軍の軽巡洋艦「バルファスト」などを展示している。

【6/24(金)】最後の授業

6:30 出発。今日は学校の最終日。クラスメイトと最後の食事。Stock Pot でサーモンのキッシュをいただく。午後の授業も記念撮影などしてお別れ。ちょっと寂しい。

放課後、宿の手配が一気に片付く。2 日目も 1 日目と同じ Student House。3・4 泊目は Generator、5~7 泊目は Limegrove に電話して予約完了。これで一安心。来週のイベントは競馬と Greenwich に決定。最後の Pub Night は Bat & Ball(Pub)でみんなにお別れ。



サーモンのキッシュ



学校の仲間とお別れ



学校帰りの地下鉄車内

補足24. たびたびお世話になった Stoc Pot は、比較的安価にご飯が食べられる定食屋さん。現在は閉店。

【6/25(土)】 International Student House(インターナショナル・スチューデント・ハウス)

5:00 起床。2週間お世話になったホストファミリーにお別れをして家を出る。St. James's Park でしばし休んだ後、Buckingham Palace で衛兵交代を見る。騎馬警官が前を通過する。

本日の宿泊先へ移動。チェックイン手続きを済ませ、地下 2 階の部屋へ。地下迷路のような廊下。10 人部屋だ。ロッカー用の南京錠が必要なため買いに出かける。部屋に戻るとチリの 2 人とインドの 1 人と会う。

夕方になり、日本からの友人を迎えに Heathrow 空港に向かう。Terminal3 で待つこと 50 分、友人現る。特製ボードでお出迎え。Piccadilly Line で宿へ。

2 段ベッドはギイギイ言う。おまけに、ちゃちなパイプベッドなので、上の人が寝返りうつと、下も揺れる。下が寝返りうつと上が揺れる。なかなか寝付けず、0:00 にやっと就寝。



衛兵交代



Students house のベッド



地下鉄で Heathrow へ



友人待ち受けの手作りボード

補足25. International Student House は今も健在。1 泊 £ 90 ~。だいぶ値上がりした

【6/26(日)】 Snooker と Pub 三昧

6:30 起床。シャワーを浴びる。お湯が普通に出て超快適。ホームステイ先のシャワーはお湯が出なかった。最後の方は慣れて、水で体を洗うようになったが、寒い日は辛かった。7:30 出発。

まずは Warren Street Station で友人の Travel Card(定期券)を購入した後、Kings Cross で1時間程スノーカーを撞く。次に British Museum(大英博物館)。そして Westminster Cathedral(ウェストミンスター寺院)。高い塔がそびえ、カッコいい。中に入ると、有り難いお説教の最中。気持ちはカトリックに。

午後は Sherlock Holmes Pub に入るが、店員のあまりの態度の悪さにすぐに店を出る。もう一人の友人と合流し、行きつけの Bat & Ball へ。Fish & Chips は安定の美味しさ。さらに一人、学校のクラスメイトが合流し、Kings Cross でスノーカーを3時間。宿に戻り 22:30 就寝。



地下鉄の面白ポスター



Bat&Ball の Fish&Chips



snooker 三昧

【6/27(月)】 Generator(ジェネレーター)

8:00 起床。Metro を取りに周辺を散歩。友人が起きるのを待って 9:10 チェックアウト。Kings Cross の Mac で朝食。続いて日課の Snooker。徒歩で Russell Square へ移動するも、宿(Generator)がなかなか見つからず苦戦。やっとのことで発見し、すぐにチェックイン。

荷物を置いて外出。近くでランチを食べ、London Dungeon(ロンドン・ダンジョン)に向かう。Dungeon 内はアトラクションでいっぱいだが、随所で待ち時間が長く疲れてしまう。

Generator の夕食は £ 3.5 でボリューム満点。£ 1 のビールを飲み、Coin Table で Pool。21:00 就寝。



朝の River Themis



Generator の夕食



Generator の廊下



pool table

補足26. Generator も健在。当時は毎日がイベントデーで楽しかった。

【6/28(火)】 Greenwich(グリニッジ)

6:00 起床。朝食はパンとシリアルが食べ放題。8:00 出発。

まずは St. Paul's Cathedral(セントポール大聖堂)まで歩く。£8(≒1600 円)払って中に入ると、天井には素晴らしい絵が。ドーム式の天井が高く、素晴らしい。心が洗われる。

今日のメインは Greenwich(グリニッジ)へのクルーズ。Tower Millennium Pier で Greenwich 行きの往復チケットを購入。Travel Card を見せると 3 割引になった。嬉しい。いざ乗船。天気は最高。かんかん照りだ。Tower Bridge の下をくぐり、30 分の船旅に出発。船からの景色はまた格別で、気分が高揚する。

Canary Wharf を過ぎ、ほどなく Cutty Sark(カティー・サーク)が見えてきた。10:45、Greenwich 到着。早速 Greenwich 天文台を目指す。途中、Greenwich Park で犬に遭遇。リスも出没。自然がいっぱいだ。山の上の旧天文台(Old Royal Observatory)は補修工事中で見学できず。2012 のオリンピックに向け、London は至る所で工事が行われている。すぐそばの新天文台(Royal Observatory)を見学。世界の中心がりをいかに発揮している。これでもか、というくらい、中心自慢が続く。さすが大英帝国。

National Maritime Museum(国立海事博物館)と Old Royal Naval College(旧王立海軍大学)の Painted Hall・Chapel を拝見し、港に戻る。Greenwich Market 内の Pub で昼食。Guinness と Fish & Chips が美味しい。

Tower Millennium Pier に戻り、St. James's Park へ。友人はお昼寝タイム。私は Epsom の情報を集めるべく Victoria へ向かう。Information で最短ルートを聞こうとするも、それは駅で聞いてくれと言われる。つめたい。

Generator に戻り夕食。今日はパスタ。そして火曜日は Pool Competition の日。友人と 2 人でエントリー。Australia から来た同室の Kerry もエントリーしたらしい。次第に盛り上がってくる場内。種目はエイトボール。Solid と Stripe という分け方ではなく、Yellow と Blue の 2 色になっている。いよいよダブルスの組分け。私は Birmingham から来た Ad(アド)と組む。友人は奇遇にも同室の Kerry とペア。Kerry に、友人はあまり英語が得意でない旨を伝えると、「全く問題無いよ。だって我々がやるのは Pool なんだから」というカッコいいお言葉。やはりビリヤードは世界共通語だ。感激。

TFF 海外初戦。友人と私の組はほぼ同時に試合開始。友人チーム、惜しくも敗れる。スクラッチが多かった様だ。私と Ad は楽しんでやっている。Ad はたくさん喋るが、Birmingham 訛のためか、何を言っているのか全く聞き取れない。盛り上がりつつ、Ad がゲームボールを決め、見事勝利。TFF 海外遠征初白星!

2 回戦は厳しい闘い。相手は 1 回戦で友人チーム破ったペアだ。一進一退の攻防。Ad はしきりに「Keep it Simple」を繰り返す。彼も Pool を愛しているのがよく分かる。やがて終盤を迎え、こちら 1 つ残り、相手は 8 を決めたら勝利という場面。相手の 8 はわずかに外れ、穴前(ほとんど穴に入っている)に残る。私のターン。入れれば勝ち、外せば負けという場面、ここは大和魂を見せてやらねば。思い切って撞いた球は、見事的球を左上コーナーにポケット。Ad が大喜びで駆け寄ってくるが、私にはその背中越しに、手球がするすると右上コーナーに吸い込まれる様子がスローモーションの様に見えていた。万事休す。でも最高に楽しかった!



Greenwich 行のクルーズ船



Tower Bridge をくぐる



Cutty Sark



世界の中心をまたぐ

補足27. Greenwich へのリバークルーズ、当時の料金を忘れてしまったが、現在は£8(≒1600 円)。

Travel card 提示で£6.5(≒1300 円)に割引となる。

補足28. Maritime Greenwich(海事都市グリニッジ)は世界遺産。天文台には 0 度の子午線が通る。世界標準時。

【6/29(水)】 Limegrove(ライムグローブ)

5:30 起床。いつものように Metro を取りに歩く。Russell Square から Euston Square までぐるりと散歩。8:00 に朝食をいただき、9:00 チェックアウト。

日課の Snooker のあと、次の宿へ向かう。Pimlico から迷いつつも、Limegrove を発見。これまでずっと知らない人との相部屋だっただけに、初の Twin で人間らしい生活に戻れそうだ。

すぐに出て明日の切符を買い、Westminster Cathedral 経由で Harrods に向かう。1 時間程買い物をする。Harrods のトイレはラスベガスのにおいがした。

歩いて Natural History Museum(国立歴史博物館)~Science Museum(科学博物館)と見学。どちらも広くて、1 時間ではとても見切れない。夕食の Pub、Cittie of York に向かう。中は静かで良い。店員さんの態度も紳士的。友人 2 人と合流し、明日の競馬の健闘を誓う。宿に入る前につまみと Guinness を買い、部屋で宴会。0:00 就寝。



Harrods 裏の建物



National History Museum



Science Museum



Limegrove で部屋飲み

補足 29. Limegrove で宿泊費を £100 札で支払おうとしたら拒否された。

偽造紙幣が出回っていて、チェックできないとのこと。

現在は紙幣にチップが入っているものに変更されており、当時の紙幣は使用できない。

【6/30(木)】 Epsom Downs Racecourse(エプソム・ダウンス競馬場)

9:30 出発。雨だ。Buckingham Palace で友人と合流して衛兵交代式を見学。交代式に 1 時間かかった。

昼から Pub ということで、Ye Olde Cheshire Cheese に向かう。テーブルが空いているのに、みんな立って飲んでいる。最初は仲間同士で飲んでいるが、そのうち他のグループと混ざり合い、別のグループが形成される。まさに社交場だ。Pub の醍醐味を目の当たりにする。

昼食は Leicester Square の Stock Pot でレバーとベーコンを食べる。美味しい。そしていよいよこの旅の最後の目玉、Epsom Downs Racecourse へと向かう。

15:20、Victoria Station を出発し、寝ていたら駅員さんに起こされる。Epsom に着いたらしい。16:00 着。駅前で道を尋ねようと Information を探すが見つからず、勘で競馬場に向かって歩き出す。歩くこと 1 時間半、野を越え山を越え、ついに Epsom Downs に到着。£16 払って Grandstand に入る。曇ってはいるが、何とか雨にならずに済みそうだ。

1R、友人が見事的中。4 番の Stolen Hours 快勝。友人は本日の勝ちが確定。2R は 4 頭立てと寂しい内容。1 番人気の Yankee George 辛勝。3R、頭数増える。的中なし。友人は勝利の美酒に酔いしれている。4R、Paddock を発見。見ると 1 頭だけ黒いプリンカーをつけた馬を発見。Newmarket で快勝した 1 番に面影が似ている。この 7 番の馬で勝負することにする。レースは残り 1 ハロンを切ったところで 7 番が大外一気の追い込み。先に抜け出した 10 番をきっちり捉え快勝。私は 7 番の単勝と 7→10 の馬単が期中。馬単は £350(≒73000 円)の払い戻し。175 倍だ。競馬の本場 Epsom で万馬券 GET! 窓口で払い戻しを受け、そのまま帰りのバスに乗る。

Victoria に戻り、Kings Cross で友人と最後の Snooker。店のおじさんと記念撮影。23:00 終了し宿に戻る。Guinness で軽くお別れ会。1:00 就寝。



Buckingham Palace の騎馬警官



Epsom Downs Racecourse まで歩くこと 1 時間半



私が選んだ 7 番

補足30. Buckingham Palace の衛兵交代式は、4 月～7 月は毎日 11 時から。他の月は 2 日に 1 回行われる。

【7/1(金)】 London Eye(ロンドン・アイ)

7:50 起床。8:00 朝食。かりかりトーストが美味しいイングリッシュ・ブレックファストだ。本日、友人は日本へ旅立つ。私は部屋を Single に移り、London Eye に向かう。

London Eye は素晴らしい眺めだ。市内が一望できる。遠くに Wembley Stadium が見えた。2 週間暮らしていたところだ。少し感傷的な気分になる。もうロンドンともお別れだ。30 分の空中散歩を終え、Horse Guards で衛兵交代式を見る。Camden Town でみやげ物探し。目をつけていたTシャツはもう無かった。

夕方、Bat & Ball と Ye Olde Cheshire Cheese をはしごして、現地の友人とお別れ。



The English Breakfast



London Eye



カプセルからの眺め



パントマイムに遭遇

補足31. London Eye は 2000 年に開業した巨大観覧車。現在の料金は、当日普通券で £36 (≒6000 円)。

【7/2(土)】 お別れ

7:00 起床。朝食を済ませ空港に向かう。13:50 離陸。さようならロンドン。



帰りの飛行機



空港ロビー

【7/3(日)】 帰国

9:00 成田到着。レンタルの携帯を返却し、京成特急で家に向かう。一旦帰宅後、渋谷ホブゴブリンにロンドンで会っていた友人 2 人と合流。London 話で盛り上がる。

後日談

【7/7(木)】 まさかのテロ発生

前日に 2012 のオリンピック開催が決まったばかりの London に衝撃が走る。朝 9:00、通勤ラッシュの地下鉄・バスに同時多発テロ。Liverpool Street、Edgware Road、Kings Cross～Russell Sq 間の地下鉄、Tottenham Court Road 付近のバスの 4 箇所。毎日私が通学で通っていたところだ。クラスが一緒だった友人に連絡したところ、LSSE 関係者は無事。しかし友人のホームステイ先の方のお孫さんは未だ行方不明とのこと。

= 完 =

(巻末付録) 私がおすすめする観光スポットランキング ベスト 10

1位 : Tower Bridge(タワー・ブリッジ)

推薦理由:とにかくカッコいい。テムズ川にそびえる2本の塔にささえられ、雄大に存在するその姿は圧巻。
夜のライトアップも必見。背の高い船が通過するとき、橋が開く。それが見られたら超ラッキー!

2位 : Ye Olde Cheshire Cheese(ジ・オールド・チシャー・チーズ)

推薦理由:歴史ある Pub。一人で行ってもゆっくり寛げる。暖炉の前の席の一人飲み、最高です。

3位 : Double Decker(ダブルデッカー)

推薦理由:ロンドンならではの乗り物。Travel Card があれば乗り降り自由。どこまでも行ける。
どこに行くか分からずに乗ってみるのがおすすめ。知らない場所に連れて行ってくれる。

4位 : Greenwich(グリニッジ)へのリバークルーズ

推薦理由:リバーボートで Tower Bridge をくぐる瞬間がいい。Thames 河畔の風景がゆっくり流れる。
Greenwich に到着後もみどころたっぷり。
Greenwich Market 内の Pub でいただいたムール貝は美味しかった。

5位 : British Museum(大英博物館)

推薦理由:世界の王様感を十分に堪能できる場所。とても 1 日では回り切れないほど充実した内容。
入場料が無料というところも嬉しい。

6位 : St. James' s Park(セント・ジェームズ・パーク)

推薦理由:ロンドン市内に公園はいくつかあるが、一番きれいで過ごしやすい。
公園内の木にはリスが住んでいて、近づくと降りてきてくれる。
日光浴している人も多い。

7位 : London Eye(ロンドン・アイ)

推薦理由:まず乗り物自体がいい。そして景色が素晴らしい。ロンドン市街を一望できる。

8位 : Natural History Museum(国立歴史博物館)と Science Museum(科学博物館)

推薦理由:この2つは隣り合っているので、セットでお勧めしたい。
恐竜の標本や、動くティラノサウルスを見ることができる。

9位 : Cambridge(ケンブリッジ)と Newmarket Racecourse(ニューマーケット競馬場)

推薦理由:ロンドンから 1 時間程度の鉄道旅を味わえる。車窓の風景がイギリス、という感じ。
ケンブリッジの大学をめぐる楽しさ。Market も活気があった。
競馬場は比較的にじんまりしているが、日本と違った高貴な感じが素晴らしい。

10位 : Leicester Square(レスター・スクエア)

推薦理由:ロンドンの中心地、Piccadilly Circus のすぐ近く。
昼は大勢の人で賑わう。まさに街の中心といった感じ。